vol.1

暮らしと農がリンクする
都市農業の今を伝えるJA京都市メディア

Link

特集

- “Link”スタートします！
- 京都市の農業の今昔、そして未来

JA京都市

特集

JA京都市の新しいメディア「Link」スタートします!

JA京都市は、情報発信を通して
より持続可能な京都市の農業に貢献するため、
新しいメディア「Link」をはじめました。
#つながる　#都市農業

#こんにちは!JA京都市です!

JA京都市は、1948年の設立以来、70年にわたって市内の組合員の方々に支えられてきました。本店は右京区西院にあり、市内15か所に支店を構え、営農経済、信用、共済、資産管理など幅広い事業を展開。生産者だけでなく一般の方向けにもさまざまなサービスを提供しています。
JAが組織された根底には「相互扶助の精神」があります。この相互扶助、つまり助け合いの精神は、私たちJA京都市が目指す「都市農業の発展」にも欠かせないものです。京都市内で活動されている生産者だけでなく、地域の住民や子どもたち、企業や団体など、それぞれの立場から**「農業に携わる人たちが互いに助け合い、共通の思いや価値観を形成してほしい」**そんな思いを込めて、私たちはこの新しいメディアに「Link」という名称をつけました。

Link

1.採れたての野菜をマルシェで販売
2.JA京都市でこどもたちの農業体験をコーディネート
3.農業技術研鑽を目的とした品評会を開催

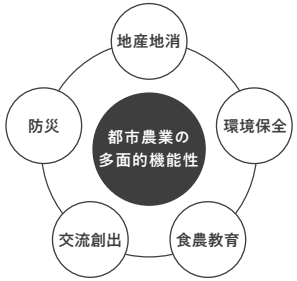
#JA京都市の活動

京都市には、約1300年前から日本随一の消費地とその胃袋を満たすための生産地が共存してきた歴史があり、市内生産者は市場や小売店といった販売ルートを自ら確立してきました。生産も販売も手掛ける忙しい市内生産者のお役に立つために、JA京都市はきめ細かなサポートをしてきました。農家を支える機関から地域の方々にも利用できる幅広い総合経済機関として、貯金や共済、資産の活用といったご相談にも対応するようになりました。

#都市農業の魅力とは?

京都の街から農地が減ったと感じたことはありませんか?一度失われた農地の再生は難しく、その重要性は決して他人事ではありません。私たちはこれまでもマルシェや高度な栽培技術の継承を目的とした農産物品評会、幼稚園・小学生向け収穫体験、小学校での食育授業といったイベントを開催してきました。京都市における「都市農業」の価値や魅力、皆さんの暮らしとリンクする「都市農業の今」を積極的に発信していきます。

都市農業とは、市街地およびその周辺で行われる農業を指す言葉です。地方の農業よりも1戸の農家あたりの面積が狭い反面、隣接する消費地に新鮮な農産物や、長距離輸送に不向きな繊細な農産物を供給できるという強みをもっています。また、農産物の生産にとどまらないさまざまな機能・役割を果たす場としての価値が見直されています。



特集

京都市の農業の今昔、そして未来

全国屈指のブランド力をもつ京野菜をはじめ、
他都市に見られない独自性をもつ京都市の農業。
その歴史や特徴、未来のためにできることを考えます。
#つながる　#地産地消　#都市農業

おいしいものを作りたい。京野菜は生産者が手塩にかけて育てています。

#恵まれた地形と気候、都としての歴史が育んだ京の農業

京都三山に囲まれた京都市には桂川や鴨川があり、古くから氾濫を繰り返し、流域に肥沃な土壌をもたらしました。また夏は蒸し暑く、冬は底冷えする京都盆地の激しい寒暖差も、野菜の風味を格段なものにしています。
794年の平安遷都以降は、食糧の生産・供給機能も一気に発達。海から離れた洛中（京都市中心部）では、野菜が食文化の中心的役割を果たし、市内農家は宮中に献上する野菜の栽培技術の研鑽にいそしみました。また全国から献上品として集められたさまざまな農産物が改良される過程で、今日の京都の伝統野菜が生まれたといわれています。

多品種を栽培する農園（右京区）

単一の農作物を栽培する農園（南区）

#生産地と消費地の距離の近さが、生産者の販売力に

京都市内では、地域によって作物や栽培方法に明確な違いがあります。南部は農地面積が比較的大きく、単一の作物を数多く栽培しており、北部では農地面積は比較的小さく、少量多品目栽培が主流。ほかにも「日本の農業の縮図」といえるほど、さまざまな特徴が見られます。しかし、いずれの地域も、消費地が近いために農家が独自に販路を開拓してきたこと、またその過程で競争が生まれ、結果として農産物の品質が高まったことは共通しています。特にどこよりもおいしい野菜をつくるという自負は強く、試行錯誤を繰り返しながら産み出された独自の栽培方法は今日まで受け継がれています。

農家が自家で収穫した野菜を担いで売る「振り売り」も一部地域で受け継がれています。

#農業の明日を見据えて

京都市の農業も、高齢化をはじめとする社会情勢の変化の影響を色濃く受けています。農家と販売先の地縁的なつながりの弱体化や、売り先が京都市内に集中しすぎて広がりが見込めないこと、また最大の強みである京野菜のブランド価値の適切な見直しなど、解決すべき課題が数多く残されています。
一方、当JAが考えた「JA京都市版GAP」制度（詳細はP6）に多くの農家が賛同し、他にも従来にない営農に挑戦する生産者も増えてきました。今後も更なる変化が予想される中で、1300年の歴史が育んできた京都の農業を持続可能なものにするためには、農業に携わるあらゆる人たちの協力・試みが不可欠なのです。

Japan Agricultural Cooperatives
JA京都市
絆づくり

旬を迎えた農産物が勢ぞろい!

「あつまれ!!醍醐ええもんマルシェ」

「あつまれ !! 醍醐ええもんマルシェ」は、醍醐支店が主催するイベント。会場には管内生産者が収穫した旬の農産物が並び、生産者による対面販売で賑わっています。マルシェは生産者の販路拡大や、生産者と消費者との交流創出を目的に、2020年12月にスタートし毎月第3木曜日に開催しています。
2022年4月21日のマルシェには筍・わらび・春菊などの春野菜が並び、「朝掘り筍は柔らかいよ、若竹煮や炊き込みご飯にしてもおいしいよ」など会話が生まれ、農産物を通した“生産者と消費者の交流”の場となっていました。

—京都市の農業の力になりたい

2年前に始めた醍醐マルシェは、生産者と消費者が顔見知りになるほど定着しつつあります。支店長の鶴田さんは「今後もJA京都市の一員として、生産者や消費者との結び付きを大切にしていきたい」と想いを語ってくれました。

お知らせ・イベント情報

勧修寺観光農園でのお芋掘り体験に先着200名様をご招待

詳しくはこちら ▶▶▶

京都市の直売所はこちら

JA京都市の挑戦

京都市の農業をサステナブルに

京都市内の生協、スーパーマツモト、イオンモール京都五条、じねんと市場、直売所などで販売しています。

農産物の安全・安心、品質向上が図れます。

環境にやさしく、自然や景観を守ります。

安全・安心な野菜のしるし JA京都市版GAP制度とは

—JA京都市版GAP制度をご存知ですか?

JAが京都市と連携して基準を定めている「JA京都市版GAP」は、生産者が適切な生産工程で農業を行えるよう実践・管理するための制度です。土づくりをはじめとする32項目の自己点検を行う生産者と、現地調査を行う専門の調査員、外部委員で構成する審査委員会の3者により厳正に管理されています。

—GAP制度にこめた想い

本GAP基準に適合した農業を行うことは、消費者の皆様が安全・安心な農産物を手にすることや、京都市の美しい自然や景観を守ることにもつながっています。私たちJA京都市は、“サステナブルな京都市の農業”を目指しGAP基準に適合する生産者を応援しています。

GAPの目的	■ 農産物の安全性・品質向上　■ 環境保全　■ 労働安全

JA京都市版GAPの取り組み

POINT 01 ＿ 肥料や農薬を適切使用します

POINT 02 ＿ 地域や河川を汚しません

POINT 03 ＿ 異物混入を防止します

GAP基準適合の農産物は2018年12月から出荷がはじまり、今では多くのスーパーや直売所で販売されるようになりました。「JA京都市版GAP基準適合」のシールは、“サステナブルな京都市の農業”を目指すしるしです。

JA京都市版
GAP基準適合マーク

Dried Kyoto Vegetables

京都発！規格外野菜のアップサイクル、OYAOYAの乾燥野菜。

行き場を失った規格外野菜にも「別の価値」があるはず。OYAOYAの乾燥野菜は、そんな想いから誕生しました。
乾燥野菜にするのはカタチが悪く、規格品として出荷できなかった野菜たち。乾燥たまねぎはやわらかくジューシーな春の「新たまねぎ」にこだわり、旨味たっぷりに仕上げられています。
「乾燥野菜」は生産者さんが丹精込めてつくった野菜を余すことなくおいしくいただくだけでなく、フードロスの削減対策にもつながります。京都の農業の存続に向き合う小島さんは、「農家さんと消費者である皆さんを繋げる、八百屋さんのような存在になりたい」と語ります。

OYAOYA代表
小島 怜さん

https://oyaoya-kyoto.com/

オンラインショップで販売中!購入はこちらから▲

Instagram

おいしい！を耕そう。

人参・オクラ・オランジェなども人気。

パスタやスープにパパッと野菜をちょい足しできて嬉しい。

JA共済の地域貢献活動

HP　Instagram

発行／JA京都市 総務企画部 地域振興課
〒615-0046 京都市右京区西院西溝崎町24
TEL:(075)314-0898

FSC www.fsc.org
ミックス
責任ある木質資源を使用した紙
FSC® C004288